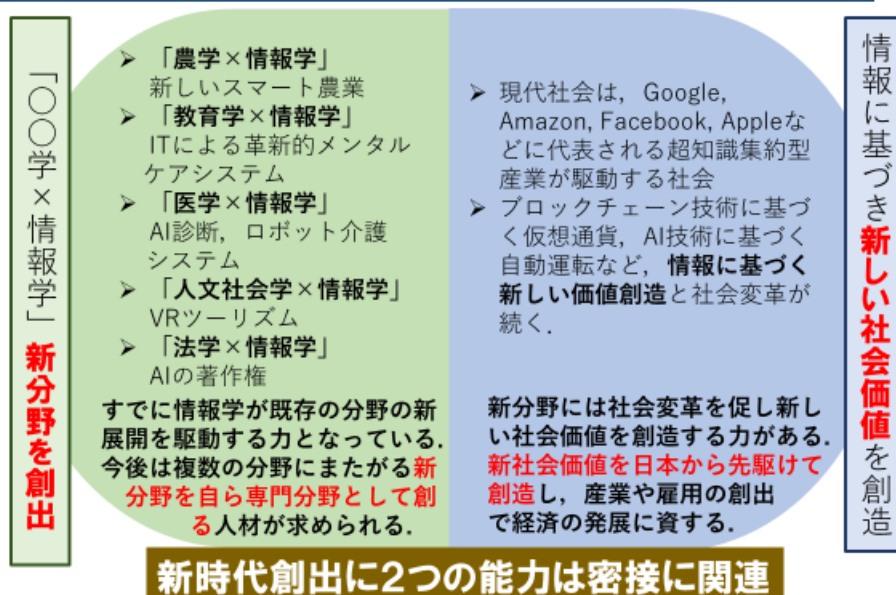


知能社会国際卓越大学院プログラム

情報系産業が主要産業化し、既存の多くの産業においても情報技術による変革が起こりつつある中、我が国では、Society 5.0 と称して、知恵が価値を生み、多様性を活力として発展するインクルーシブな社会を目指した取り組みが始まっています。これらの目標を実現するためには、諸分野と情報学の分野を融合した新しい学術分野や応用分野を創出する人材、及びそのような融合分野をはじめとする社会需要の高い分野に情報学の技術と方法論を適用して新しい価値を創造する人材が求められています。博士課程の学生がそのような人材として育ち、学術と産業を変革することが、本プログラムの究極的な目標です。

Society5.0創出新型人材に求められる能力



本プログラムには、博士後期課程進学を目指すとともに、情報に基づき新しい社会価値の創造を目指すか、もしくは、諸分野と情報学の融合により新分野の創造を目指す学生であれば、**研究科・専攻を問わず**応募することができます。本プログラムは本学のすべての大学院部局により運営されています。

2019年度では、9研究科から21名の学生が採用されました。2020年度の募集は4月に入ってから行います。修士1年の学生を対象に4月中旬に説明会を行い、4月末に募集を締め切り5月に採用者を発表する予定ですが、諸般の事情により予定が変わる可能性があります。随時、以下のホームページに日程などの情報を掲載しますので、参照してください。

知能社会国際卓越プログラム ホームページ：<http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp/takuetsu/>（暫定）

本プログラムに関する問い合わせ：工学部8号館621号室 電話：03-5841-8746

E-mail（卓越GCL事務局学務担当）：gcl_gakumu@gcl.i.u-tokyo.ac.jp

本プログラムは、リーディング大学院「ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム (GCL)」を継承しています。GCL では情報技術による社会変革を主要な目標としていましたが、本プログラムでは、社会価値創造に加えて純粋に学術的な分野融合も目標としています。奮って応募ください。本プログラムの概要は下図のようです。

教育プログラム

俯瞰力、異分野を統合する能力、リーダーシップを備え
新しい学術分野を創造し**新しい社会価値**を創出する人材

知能社会創造プロジェクト=博士研究

学生が**室長(PI)**となる共同研究

学生自身が編成しあらゆるサポートを提供する**エンジェルチーム**

プロジェクト成果の学位論文への熟成+共同研究費獲得のアドバイス

創造性を誘発する新学位システム

- ・越境卓越大学院制度
新分野を主体的に模索・創成
情報学を軸とし**全研究科**から
成る分野横断・融合教育体制
- ・異分野インターンシップ
- ・メジャー・マイナー学位
「〇〇学×情報学」を具現

新教育制度と
教育生態系の
相乗効果

価値創造を促す社会一体型教育

- ・アイデアの社会実装支援
社会実装し社会（企業）から評価
- ・在学中ベンチャー
在学中の起業につながる活動を支援
- ・知能社会国際卓越ファンド
教育に健全なリスクマネーが
流入する仕組みの導入

本コースを修了するためには、以下の条件を満たすことが必要です。

- ・修士課程（博士前期課程）において本プログラムの選択科目を 2 単位以上、博士全課程において本プログラムの選択科目を 6 単位以上履修
- ・合宿を含む諸活動に参加
- ・3 か月以上の異分野インターンシップを遂行：学外の企業、医療機関、研究所、海外の大学等において遂行します。情報学との融合により新分野の創造を目指す者は、学内の自らの専門とは異なる研究室において異分野インターンシップを行うこともできます。
- ・QE (Qualifying Exam) に合格：修士課程（博士前期課程）2 年次の最初の学期が過ぎた時点で、博士後期課程における研究計画を提出し、知能社会創造プロジェクトの遂行能力の審査を受けます。QE に合格した時点より、**奨励金（月 18 万円）を支給します。**
- ・知能社会創造プロジェクトを実践しその審査に合格：本プログラムでは、博士の学位取得に向けた研究を知能社会創造プロジェクトと呼んでいます。（博士論文の研究と別個に行うものではありません。）

情報理工学系研究科と学際情報学府以外の教育課程に在籍し、所定の選択科目を 8 単位以上取得し、諸分野と情報学の融合に関連する知能社会創造プロジェクトを遂行した者には、情報学副専攻（マイナー学位）を認定します。